

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%
保護者様： 16名回答、回答率 94%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・広さは十分確保されている。
- ・職員の配置は、日によって十分でないこともある。
- ・トイレ前や玄関に小さな段差がる。
- ・肢体不自由の児童がいないので、バリアフリー化は進めていない。

○業務改善

- ・日々のミーティングで共有はしっかりできている。
- ・ミーティングの時間で短時間の研修を実施している。

○適切な支援の提供

- ・活動の設定は、決まった人が行っている。
- ・日によって、支援開始前のミーティングができないこともある。
- ・支援終了時間にミーティングは、それぞれ退勤時間や送迎があるため難しい。

○関係機関や保護者との連携

- ・相談支援とは、連絡を取りあって共有している。
- ・地域のイベントや児童館のイベントに参加している。
- ・学校との連携は、適切に行えている。
- ・送迎時や半年に一回の面談などで保護者と話す機会を設けている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会に参加するご家庭が少ないので、いつも決まったメンバーで行っている。

○非常時等の対応

- ・月に一回、色々な災害を想定して避難訓練を行っている。
- ・身体拘束については、個別支援計画書に記載し、都度保護者と相談しながら対応している。
- ・ヒアリハットは、日々のミーティングで共有している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・利用者本人に聞くと狭いと言っている

○適切な支援の提供

- ・児童館の交流などを特に必要と感じたことがない
- ・放課後という決められた時間に外部交流は難しいかと思う。

○保護者への説明等

- ・苦情を出したことはないで、どのように対応しているのかわからない
- ・保護者の連携に関しては、個人情報もあるので難しいのではないかと思う。

○非常時等の対応

- ・特に意見なし

○満足度

- ・最近では学校のお友達と遊びたいと言って行きたがらないことも増えてきた。
- ・いつもありがとうございます。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ①保護者会や療育参観の参加率を増やしたい。
- ②教室の様子や児童の様子を連絡帳や引継ぎだけではなく、別の形で発信したい。
- ③教室整備、過ごしやすい環境作りをしていく。

○改善できた点・まだ残る課題

→①児童と一緒に体験できる療育活動を企画したことで、両親揃って参加して頂いたご家庭や普段あまり来ないご家庭が来て頂くことができた。とはいえ、開催する日程に予定が入っていたり、違う事業所に行っている利用者もいるため、参加率は低い。

→②ブログの更新を行う予定だったが、なかなかブログを更新することができなかった。また、ブログを書く担当も決めていなかったため、業務として回すのが難しかった。

→③教室全体の整備を行うことができた。訓練室ではロッカーや勉強用の棚などを配置し、教室全体にスチールラックを配置することで収納スペースや教室内をすっきりとさせることができた。また、夏には扇風機を置くことで涼しくすることは出来たが、冬場の対策はまだ必要。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・ミーティングができない時もあるが、出来る時は支援開始前のミーティングでできるだけ時間を取り、児童の様子や支援方法、ヒヤリハットなどの共有に勤めている。
- ・地域のイベントに参加することによって、児童の経験が増えてきている。また、地域の方が温かく受け入れてくれているため、参加しやすい環境となっている。
- ・保護者とはもちろん、学校の先生とも連携を取って、なるべく同じ内容で支援を行うようにしている。何かあった時も、共有もしっかりし、相談もできている。
- ・活動の充実さからか、学校休業日や長期休みに定期利用の児童のお休みがなくなってきており、スポット待ちする日も出てくるようになった。

○改善点

- ・保護者会を設定しても毎回同じご家庭しか参加しなくなっている。年に2回行いたい、1回で十分らしく、2回目は参加率が下がってしまうため、開催できない。
- ・児童の年齢的なものもあり、「学校のお友達と遊びたい」や「自宅で過ごしたい」などの、自分の時間を確保したい気持ちが表れ、休みを取る児童がいた。
- ・支援開始前のミーティングができないこともあるので、ミーティングは毎日行っていきたい。また、支援終了後のミーティングに関しては、現状難しい。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ①保護者会や療育参観の参加率を向上したい。
- ②日々の活動でもさらに児童の年齢に合わせて難易度や興味のあるものにしていく。

○1年間で取り組む具体策

→①保護者会と療育参観を同じ日に設定をしているが、毎回参加者が少ないので、療育参観の内容を児童の興味が湧くものだけでなく、保護者からも関心をもっていただけるものを考えたい。また、保護者同士の交流の時間も取れるような設定もしていき、年二回開催できるようにしていきたい。

→②年齢的に自分の時間を確保したい時期になってきていることから、児童の年齢に合わせた活動やレベルにあったものを提供することで、スマートに行きたいと言ってもらえるようにしていく。

スマートキッズ